Asian Productivity Organization
“The APO in the News”

Name of publication: Nikkan Sangyo Shimbun (6 June 2016, Japan)
Page: 3

JFEグループ

エコプロダクツ国際展に出展

最先端の環境商品・技術PR

JFEグループは、6月8－11日の4日間、バンコク国際貿易展示場で開催される「第10回エコプロダクツ国際展」（主催＝アジア生産性機構、タイ工業連盟、タイ生産性本部）に各事業分野に根ざした最先端の環境商品・技術を出展する。

展示スペースイメージ

JFEグループによる同展への出展は3回目。

「エコプロダクツ国際展（EPIE）」は、アジア各国における循環型社会の形成、環境製品・サービスの普及、環境事業の振興を目指すアジア最大規模の環境国際展示会。第10回となる本年は、「24時間エコライフ」をテーマに、タイ・バンコクで開催される（タイでの開催は2005年以来2回目）。

JFEグループは同展の主旨に賛同し、従来は他社との共同ブースで出展してきたが、今回は規模を大幅に拡大し、初めて単独ブースで出展するもの。出展企業はJFEスチール、JFEエンジニアリング、JFE商事、JFEコンテイナー。

展示スペースの自動車エリアでは高張力鋼（ハイテン）、シート曲げ体験あり）、天然ガス車用燃料タンク（CNGVシリンダー）を、資源循環エリアではごみ発電プラント、バイオマス発電などをそれぞれ紹介。また、マテリアルフローエリアでは製鉄所プロセスにおける環境負荷の低減と資源の有効活用をはじめ、鉄鋼スラグ製品「マリンブロック」などをアピールする。

また、国際展初日である8日には展示場内に併設される国際会議場において、アジア生産性機構傘下の生産性諮問委員会の馬田一会長（JFEホールディングス相談役）が、持続可能社会の実現に向けた取り組みをテーマに基調講演を行う予定だ。

アジア生産性機構（APO）は、アジア太平洋地域における社会経済発展に寄与するため、生産性向上に関する活動を行う国際機関。緑の生産性諮問委員会（GPAC）は、アジア地域における経済成長と環境保全の両立を達成するため、APO内で「緑の生産性事業」をスタート。APO加盟国内で実証、普及活動などの各種事業を行っており、GPACはこの取り組みを主導する諮問委員会。

(日刊産業新聞　2016 年 6 月 6 日付　3 面)